

株 主 各 位

東京都港区赤坂一丁目8番1号

株式会社 **セゾン情報システムズ**

代表取締役社長 内 田 和 弘

## 第53期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、当社第53期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申しあげます。

本株主総会は、新型コロナウイルスの感染予防措置を講じた上で開催いたしますが、開催日時点の流行状況やご自身の健康状態をご考慮いただき、株主総会当日のご出席について慎重にご検討いただきますようお願いいたします。

議決権行使につきましては、当日のご出席に代えて、インターネット、または同封の議決権行使書の郵送により行っていただくことも可能です。後記の株主総会参考書類をご検討いただき、以下「事前に議決権行使される場合」のいずれかの方法に従いまして議決権を行使いただきますようお願い申し上げます。

### 事前に議決権行使される場合

#### a) インターネットによる議決権行使

PCまたはスマートフォンから、同封の議決権行使書に記載のURLにアクセスし、画面の案内に従い、議案に対する賛否をご入力ください。【行使期限：2022年6月20日（月）17時45分まで受付】

※詳細は3頁に記載の「インターネットによる議決権行使のご案内」をご確認くださいようお願い申し上げます。

#### b) 議決権行使書の郵送による議決権の行使

同封の議決権行使書に議案に対する賛否をご表示いただき、返送ください。【行使期限：2022年6月20日（月）17時45分到着分まで受付】

### 当日ご来場いただく場合

- ・本書および同封の議決権行使書をご持参いただき、議決権行使書を会場受付にご提出ください。
- ・ご来場の際は、マスクをご着用いただき、会場における検温等の新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いいたします。発熱や咳等の症状がある場合や感染拡大防止等にご協力いただけない場合等は、ご入場をお断りすること、または退場をお願いすることがございます。あらかじめご理解くださいますようお願い申し上げます。
- ・今後の状況により株主総会の運営等を変更する可能性がございます。当社ウェブサイト (<https://home.saison.co.jp/>) にて適宜最新状況のご確認をお願いいたします。

敬 具

## 記

1. 日 時 2022年6月21日（火曜日）午前10時  
2. 場 所 東京都港区赤坂一丁目8番1号

赤坂インターシティAIR3階  
赤坂インターシティコンファレンス 301

※万一、本会場を利用できなくなった場合は、当社会議室（東京都港区赤坂一丁目8番1号 赤坂インターシティAIR19階）を代替会場として本株主総会を開催させていただく予定です。その場合は、当社ウェブサイト（<https://home.saison.co.jp/>）にてお知らせいたしますので、ご来場を予定される株主の皆様におかれましては、当日を含め適宜最新の状況をご確認ください。

### 3. 目的事項

- 報告事項
1. 第53期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
  2. 第53期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）計算書類の内容報告の件

- 決議事項
- 第1号議案 剰余金の処分の件
  - 第2号議案 取締役9名選任の件
  - 第3号議案 監査役1名選任の件
  - 第4号議案 監査役の補欠者1名選任の件

以 上

- ~~~~~
- ◎当日ご出席の際は、本書および同封の議決権行使書をご持参いただき、議決権行使書を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- ◎連結注記表および個別注記表につきましては、当社のインターネットウェブサイト（<https://home.saison.co.jp/>）に掲載させていただきます。したがって、本招集ご通知の添付書類に記載しております連結計算書類および計算書類は、会計監査人および監査役が会計監査報告および監査報告の作成に際して監査した連結計算書類および計算書類の一部であります。なお、株主総会参考書類ならびに事業報告、連結計算書類および計算書類に修正が生じた場合につきましても、当社のインターネットウェブサイト（<https://home.saison.co.jp/>）に掲載させていただきます。
- ◎株主総会におけるお土産のご用意はございません。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

# インターネットによる議決権行使のご案内

インターネットによる議決権行使は、「QRコードを読み取る方法」または「ログインID・仮パスワードを入力する方法」のいずれかで可能です。

【行使期限：2022年6月20日（月）17:45まで受付】

## 1. QRコードを読み取る方法（ログインID、仮パスワードを入力せずにログインできます）

- ・同封の議決権行使書 副票（右側）に記載された「ログイン用QRコード」を読み取りいただき、画面の案内に従い、議案に対する賛否をご入力ください。

※QRコードによる議決権行使は1回に限ります。2回目以降のログインの際は、以下「ログインID、仮パスワードを入力する方法」に従い、ログインしてください。

## 2. ログインID、仮パスワードを入力する方法

- ・「議決権行使ウェブサイト」（以下URL）にアクセスいただき、同封の議決権行使書 副票（右側）裏面に記載の議決権行使コードおよびパスワードにてログインしていただき、画面の案内に従い、議案に対する賛否をご入力ください。なお、セキュリティ確保のため、初回ログインの際にパスワードを変更いただく必要があります。

議決権行使ウェブサイト <https://soukai.mizuho-tb.co.jp/>

## 3. ご注意事項

- ・郵送とインターネットにより議決権行使を重複して行使された場合は、インターネットによるものを有効として取り扱わせていただきます。
- ・インターネットにより複数回行使された場合は、最後に行われたものを有効として取り扱わせていただきます。

## 4. お問い合わせ先

- ・ご不明点は、株主名簿管理人であるみずほ信託銀行 証券代行部（以下）までお問い合わせください。

**【議決権行使ウェブサイトの操作方法等に関する専用お問い合わせ】**

フリーダイヤル 0120-768-524（年末年始を除く9：00～21：00）

**【上記以外の株式事務に関するお問い合わせ先】**

フリーダイヤル 0120-288-324（平日9：00～17：00）

以上

## 株主総会参考書類

### 第1号議案 剰余金の処分の件

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

#### 期末配当に関する事項

当社は、魅力的で稀有な高収益IT企業となり、企業価値最大化の実現につなげるという経営目標から、ROE20%、自己資本比率、TSR（株主総利回り）を経営指標に設定し、高ROE企業にふさわしい株主還元の実現を図るため、以下の配当方針としております。

（配当方針）

- ① DOE（自己資本配当率）10%を目安とする
- ② 自己資本比率50%～75%を維持し、最適資本構成を目指す
- ③ 通期見通しの約1/2を中間配当額とする

この配当方針に基づき検討いたしました結果、第53期の期末配当につきましては、1株につき、45円といたしたいと存じます。なお、中間配当として1株につき45円をお支払いしておりますので、第53期の年間配当は、1株につき90円となります。

- ① 配当財産の種類  
金銭といたします。
- ② 配当財産の割当てに関する事項およびその総額  
当社普通株式1株につき45円といたします。  
配当総額は、728,973,720円となります。
- ③ 剰余金の配当が効力を生じる日  
2022年6月22日といたします。

## 第2号議案 取締役9名選任の件

取締役全員（8名）が本総会の終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、経営体制の一層の強化を図るため取締役1名を増員し、社外取締役4名を含む取締役9名の選任をお願いいたしたいと存じます。

取締役候補者は、指名・報酬委員会で審議し、取締役会で次のとおり決定しています。

候補者 番号	氏 名 (生 年 月 日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況 (※ 印 は 現 職)	所 有 す る 当 社 株 式 の 数
1	<p style="text-align: center;">は や ま まこと 葉 山 誠 (1969年7月24日生) 【新任】</p>	<p>1997年4月 株式会社サトー（現・サトーホールディングス株式会社）入社</p> <p>2010年6月 同社執行役員カスタマーサポート本部長 （兼）サトーシステムサポート株式会社代表取締役社長</p> <p>2011年4月 同社常務執行役員カスタマーサポート本部長 （兼）サトーシステムサポート株式会社代表取締役社長</p> <p>2012年4月 同社常務執行役員 （兼）SATO UK LTD. Chairman</p> <p>2014年4月 同社常務執行役員 （兼）SATO INTERNATIONAL EUROPE N.V. Managing Director</p> <p>2017年1月 当社入社</p> <p>2017年4月 当社HULFT事業部長</p> <p>2018年4月 公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）ビジネスタスクフォースシニアコーディネーター</p> <p>2019年7月 ※同法人フェロー</p>	—
<p><b>【取締役候補者とした理由】</b></p> <p>同氏は、IoT分野に強みを有するサトーホールディングス株式会社において、商品企画、欧州事業トップ等を経験しております。当社においてもHULFT事業部長としての経験があり、当社事業に関する知見も有しております。更に公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）にて企業の脱炭素経営推進を通じて企業の変革を支援した実績があります。同氏はその経歴を通じて培った多様な経験を当社経営に活かすことが、当社の海外事業加速や新規事業創出、ESG取組み加速等を通じた事業価値の向上、および取締役会の意思決定・監督機能の強化に繋がると判断し、取締役として選任をお願いするものであります。</p>			

候補者 番号	氏 名 (生 年 月 日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況 (※ 印 は 現 職)	所 有 す る 当 社 株 式 の 数
2	とが の きょう すけ 梅 野 恭 輔 (1961年11月2日生)	1986年4月 株式会社西武クレジット（現株式会社 クレディセゾン）入社 2005年3月 同社システム企画部長 （兼）みずほUC提携推進室部長 2005年6月 同社取締役システム推進部担当 （兼）システム企画部長 2006年3月 同社取締役システム本部副本部長 2007年3月 同社取締役システム本部長 2007年10月 株式会社キュービタス（現株式会社ク レディセゾン）代表取締役社長 2015年3月 同社専務取締役 2020年4月 当社入社 2020年6月 ※当社取締役 ※当社フィナンシャルIT技術担当	400株
<p><b>【取締役候補者とした理由】</b></p> <p>同氏は、長年にわたり株式会社クレディセゾンおよび株式会社キュービタスにおいて、情報システム部門担当役員など要職を歴任しており、金融業界およびプロセッシング業界での豊富な経験と幅広い見識を有しています。そこで得た知識や経験を当社経営に活かすことが、フィナンシャルIT技術を活用した事業価値の向上および取締役会の意思決定・監督機能の強化に繋がると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p>			

候補者 番号	氏 名 (生 年 月 日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況 (※ 印 は 現 職)	所 有 す る 当 社 株 式 の 数
3	やま もと よし ひさ 山 本 善 久 (1965年3月10日生)	1988年4月 株式会社クレディセゾン入社 2006年3月 同社システム企画部長 2007年3月 同社システム本部副本部長 2008年3月 同社システム企画部長 2011年6月 同社取締役 2012年3月 同社取締役システム企画部担当 2018年4月 当社顧問 2018年6月 ※当社取締役 当社Fintechプラットフォーム事業技術戦略管掌 2019年4月 当社製品・サービス開発管掌 2019年7月 当社HULFT事業部長 HULFT, Inc. CEO HULFT Pte. Ltd. CEO 2020年1月 世存信息技術（上海）有限公司董事長 2020年4月 当社執行役員HULFTビジネスユニット長 2021年4月 ※当社リスクマネジメント担当	700株
<p><b>【取締役候補者とした理由】</b></p> <p>同氏は、長年にわたり株式会社クレディセゾンにおいてシステム部門での豊富なマネジメント経験があり、基幹システムの開発を統括するなど、システム全般に関する幅広い見識を有しています。そこで得た知識や経験を当社経営に活かすことが、取締役会の意思決定・監督機能の強化に繋がると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p>			

候補者 番号	氏 名 (生 年 月 日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況 (※ 印 は 現 職)	所 有 す る 当 社 株 式 の 数
4	ふじ 藤 うち 内 きよ 聖 ふみ 文 (1964年10月10日生)	1987年4月 国際電信電話株式会社（現KDDI株式会社）入社（1996年～1998年までKDD America, Inc. カリフォルニア支社出向） 2001年1月 株式会社ジェー・アイ・イー・シー（現SCSK株式会社）入社 2003年10月 アイ・ティー・シーネットワーク株式会社（現コネクシオ株式会社）入社 2016年4月 当社入社 HULFT事業部事業企画部長 2016年11月 世存信息技術（上海）有限公司董事 HULFT, Inc. Board of Directors 2017年7月 当社経営推進部長 2018年4月 当社コーポレートサービスセンター長（兼）経営推進部長 2018年6月 ※当社取締役 2019年4月 当社コーポレートサービスセンター長 2020年4月 ※当社経営戦略担当	—
<p><b>【取締役候補者とした理由】</b>            同氏は、上記略歴のとおり、グローバルにビジネスを展開する企業、IT関連企業、および当社入社後は当社グループの事業領域、業務領域にて、豊富な経験と専門性の高い知識を有しております。同氏がその経歴を通じて培った多様な視点を当社経営に活かすことが、取締役会の意思決定・監督機能の強化に繋がると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。</p>			

候補者 番号	氏 名 (生 年 月 日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況 (※ 印 は 現 職)	所 有 す る 当 社 株 式 の 数
5	いし だ せい じ 石 田 誠 司 (1968年3月30日生) 【新任】	1990年4月 株式会社CSK（現株式会社SCSK）入社 1996年8月 CSI株式会社（SCSK Minoriソリューションズ株式会社）転籍 2004年9月 日本SSAグローバル株式会社（現インフォアジャパン株式会社）入社 2006年9月 ソフトバンクIDC株式会社（現株式会社IDCフロンティア）入社 2017年1月 同社代表取締役社長 2017年7月 ソフトバンク株式会社入社 2018年4月 同社クラウドエンジニアリング本部長 2021年6月 当社入社 当社上席執行役員新規ビジネス開発推進担当 2021年10月 当社上席執行役員戦略ビジネス推進統括 2022年4月 ※当社上席執行役員DIビジネス統括 （兼）データプラットフォームビジネスユニット長	—
<p><b>【取締役候補者とした理由】</b></p> <p>同氏は、上記略歴のとおり、長年にわたりIT業界における営業経験や株式会社IDCフロンティアでの経営者としての十分な経験・実績を有しております。</p> <p>特にソフトウェアの販売・マーケティングにおいて豊富な経験と専門性の高い知見を有しております。また、当社の目指すべきデータエンジニアリングサービス領域においてもリカーリングモデルのビジネスにも精通しており、当社事業戦略の実現に向けて、取締役会の意思決定・監督機能の強化に繋がると判断し、取締役として選任をお願いするものであります。</p>			

候補者 番号	氏 名 (生 年 月 日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況 (※ 印 は 現 職)	所 有 す る 当 社 株 式 の 数
6	まき ひろ ゆき 牧 寛 之 (1980年11月15日生) <b>【新任】</b>	2011年6月 株式会社メルコホールディングス取締役 2014年6月 ※同社代表取締役社長 2018年5月 ※株式会社バッファロー代表取締役社長 2020年5月 ※株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ代表取締役社長 2020年10月 ※メルコフィナンシャルホールディングス株式会社代表取締役社長	-
<p><b>【社外取締役候補者とした理由】</b></p> <p>同氏は、株式会社メルコホールディングス、株式会社バッファロー等の代表取締役社長を務めており、経営者として十分な経験・実績を有しております。特にチャネルマーケティングと販売において豊富な経験と専門性の高い知見を有しております。当社と株式会社メルコホールディングスとの資本業務提携における販売チャネルの相互活用の推進、販売チャネル戦略の強化等による事業価値の向上のほか、同氏の経験、知見等を基に、取締役会の意思決定を行う上での適時適切な助言や監督機能の強化が期待されることから、取締役として選任をお願いするものであります。</p>			

候補者 番号	氏 名 (生 年 月 日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況 (※ 印 は 現 職)	所 有 す る 当 社 株 式 の 数
7	すず き こう いち 鈴 木 孝 一 (1956年1月2日生)	1979年4月 大和証券株式会社入社 1996年4月 株式会社大和総研証券システム開発部長 2001年11月 大和証券株式会社経営企画部大和証券システム全面刷新責任者 2003年4月 同社システム企画部長 2005年4月 同社執行役員 2008年4月 同社常務取締役管理副本部長 2010年4月 株式会社大和総研大和証券グループシステム最高責任者 2011年4月 同社専務取締役 2014年4月 株式会社大和総研代表取締役副社長 株式会社大和総研ホールディングス (現株式会社大和総研) 代表取締役副社長 株式会社大和総研ビジネス・イノベーション (現株式会社大和総研) 代表取締役副社長 2016年4月 株式会社大和総研ホールディングス (現株式会社大和総研) 顧問 2017年6月 ※当社取締役 2018年1月 ※IPOC株式会社代表取締役社長	1,400株
<p><b>【社外取締役候補者とした理由】</b></p> <p>同氏は、長年にわたり大和証券株式会社および株式会社大和総研においてシステム企画・開発・品質管理に携わられた後、大和証券株式会社および株式会社大和総研において取締役および大和証券グループシステム最高責任者を務められており、豊富な経験と幅広い見識を有しています。同氏がその経歴を通じて培ったシステム開発および品質管理ならびに企業経営に関する経験と見識を基に、業務執行を行う経営陣から独立した立場から、取締役会の意思決定を行う上での適時適切な助言が期待されることから、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。</p>			

候補者 番号	氏 名 (生 年 月 日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況 (※ 印 は 現 職)	所 有 す る 当 社 株 式 の 数
8	よし だ まき ひこ 吉 田 雅 彦 (1947年4月1日生)	1969年4月 高千穂交易株式会社入社 1985年4月 同社横浜支店長 1988年4月 合併に伴い日本ユニシス株式会社入社 1988年9月 日本タンデムコンピュータズ株式会 社入社 1998年1月 合併に伴いコンパックコンピュータ株 式会社入社 1999年10月 同社常務取締役営業統括本部長 2002年11月 合併に伴い日本ヒューレット・パッカ ード株式会社入社、常務執行役員 2004年5月 同社専務執行役員営業担当 2007年2月 同社取締役専務執行役員営業担当 2007年7月 日本HPファイナンシャルサービス株式 会社代表取締役社長（兼任） 2009年4月 日本ヒューレット・パッカー ード株式 会社取締役相談役 2009年6月 株式会社データ・アプリケーション社 外取締役 2013年4月 ※ワクコンサルティング株式会社最高 顧問 2013年6月 インテック株式会社社外取締役 2013年7月 日本マイクロソフト株式会社顧問 2013年10月 ※株式会社P&Aアソシエイツ代表 2014年6月 ※日本サード・パーティ株式会社（現 JTP株式会社）社外取締役 2017年6月 ※株式会社日本テクノス社外取締役 2017年7月 ※FPTジャパン株式会社（現FPTジャパ ンホールディングス株式会社）エグゼ クティブアドバイザー 2018年6月 ※当社取締役	2,200株
<p><b>【社外取締役候補者とした理由】</b>  同氏は、長年にわたり外資系企業の要職を歴任され、豊富な経験と幅広い見識を有しており、IT業界における豊富な知見および幅広いネットワークならびに企業経営に関する経験と見識を基に、業務執行を行う経営陣から独立した立場から、取締役会の意思決定を行う上での適時適切な助言が期待されることから、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。</p>			

候補者 番号	氏 名 (生 年 月 日)	略歴、地位、担当および重要な兼職の状況 (※ 印 は 現 職)	所 有 する 当 社 株 式 の 数
9	すえ なが まもる 末 永 守 (1956年12月4日生)	1979年4月 野村コンピュータシステム株式会社 (現株式会社野村総合研究所) 入社 2000年6月 同社取締役証券システム本部長 (兼) システムコンサルティング本部長 2002年4月 同社取締役常務執行役員証券・保険ソ リューション部門長 2004年4月 同社常務執行役員基盤ソリューション 事業本部長 2006年4月 同社専務執行役員流通・サービス・産 業関連システム担当 2007年6月 同社取締役専務執行役員流通・サービ ス・産業関連システム担当 2009年6月 同社専務執行役員システムマネジメン ト・技術支援・品質監理担当 2012年6月 同社監査役 2016年6月 同社取締役 2017年6月 同社顧問 2019年6月 ※当社取締役	4,200株
<p>【社外取締役候補者とした理由】</p> <p>同氏は、長年にわたり株式会社野村総合研究所の経営に携わっており、その経験を通じて培われた企業経営に関する豊富な経験と高い見識を基に、業務執行を行う経営陣から独立した立場から、取締役会の意思決定を行う上での適時適切な助言が期待されることから、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。</p>			

- (注) 1. 牧寛之、鈴木孝一、吉田雅彦、末永守の各氏は、社外取締役候補者であります。  
当社は、鈴木孝一、吉田雅彦、末永守の各氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。各氏が再任された場合には、当社は、引き続き各氏を独立役員とする予定です。
2. 各社外取締役候補者が当社社外取締役に就任してからの年数  
鈴木孝一氏の当社社外取締役就任期間は、本総会の終結の時をもって5年です。  
吉田雅彦氏の当社社外取締役就任期間は、本総会の終結の時をもって4年です。  
末永守氏の当社社外取締役就任期間は、本総会の終結の時をもって3年です。
3. 牧寛之氏は、株式会社メルコホールディングスの代表取締役社長等を兼務しており、当社は同社との間で、製品開発および販売チャネルの相互活用を目的とした資本業務提携契約を締結しております。他の取締役候補者と当社の間には、特別の利害関係はありま

せん。

4. 当社は、鈴木孝一、吉田雅彦、末永守の各氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、300万円または同法第425条第1項に規定される最低責任限度額のいずれか高い額としております。また、当該契約に基づく責任限定が認められるのは、その責任の原因となった職務の遂行について善意でかつ重大な過失がないときに限られております。本総会において各氏の再任が承認された場合には、当社は、各氏との間で、同様の内容の契約を継続する予定であります。また、本総会において牧寛之氏の選任が承認された場合には、当社は、同氏との間で、同様の契約を締結する予定です。
5. 当社は、保険会社との間で、取締役全員を被保険者として、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しております。当該契約の概要は、被保険者がその職務の執行に関して負担することとなる法律上の損害賠償金、訴訟費用を填補するものです。各候補者が取締役就任した場合は、各候補者は被保険者に含まれることとなります。また、次回更新時には同内容で更新する予定です。

### 第3号議案 監査役1名選任の件

監査役小川憲久氏は本総会の終結の時をもって任期満了となります。つきましては、監査役1名の選任をお願いいたしたいと存じます。なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。監査役候補者は次のとおりであります。

氏 名 (生年月日)	略歴、地位および重要な兼職の状況 (※ 印 は 現 職)	所有する 当社株式の数
お がわ のり ひさ 小 川 憲 久 (1951年1月7日生)	1979年4月 弁護士登録 柏木・清塚法律事務所入所 1987年10月 小川憲久法律事務所長 1994年6月 ※山九株式会社監査役 1994年12月 ※紀尾井坂法律特許事務所(現紀尾井坂テー ミス総合法律事務所) 弁護士 1998年4月 株式会社ナイスクラブ監査役 2012年6月 ※一般財団法人ソフトウェア情報センター理 事 2014年6月 ※当社監査役	2,900株

#### 【社外監査役候補者とした理由】

同氏は、弁護士および一般財団法人ソフトウェア情報センター理事を務めており、主に知的財産権分野を中心とする弁護士として長年にわたり培ってきた経験や見識を、当社の監査に反映し、独立かつ公正な立場による客観的な監査業務を行っております。同氏はその経歴を通じて培った経験と見識を、経営陣から独立した立場で当社の監査に反映し、独立かつ公正な立場による客観的な監査意見を期待できるものと判断し、引き続き社外監査役として選任をお願いするものであります。

(注) 1. 小川憲久氏は、社外監査役候補者であります。

- 当社は、小川憲久氏を、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。同氏が再任された場合には、当社は、引き続き同氏を独立役員とする予定です。
2. 社外監査役候補者が当社社外監査役に就任してからの年数  
小川憲久氏の当社社外監査役就任期間は、本総会の終結の時をもって8年です。
  3. 小川憲久氏と当社の間には、特別の利害関係はありません。
  4. 当社は、小川憲久氏との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、300万円または同法第425条第1項に規定される最低責任限度額のいずれか高い額としております。また、当該契約に基づく責任限定が認められるのは、その責任の原因となった職務の遂行について善意でかつ重大な過失がないときに限られております。本総会において同氏の再任が承認された場合には、当社は、同氏との間で、同様の内容の契約を継続する予定です。
  5. 当社は、保険会社との間で、監査役全員を被保険者として、会社法第430条の3第1項に

規定する役員等賠償責任保険契約を締結しております。当該契約の概要は、被保険者がその職務の執行に関して負担することとなる法律上の損害賠償金、訴訟費用を填補するものです。小川憲久氏が監査役に就任した場合は、同氏は被保険者に含まれることとなります。また、次回更新時には同内容で更新する予定です。

#### 第4号議案 監査役の補欠者1名選任の件

監査役の補欠者（横石友浩氏）選任の効力は本総会の開始の時までとなっております。

つきましては、法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、あらかじめ監査役の補欠者の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役の補欠者の候補者は次のとおりであります。

氏名 (生年月日)	略歴、地位および重要な兼職の状況 (※印は現職)	所有する 当社株式の数
よこ いし とも ひろ 横 石 友 浩 (1965年11月26日生)	1989年4月 当社入社 2007年6月 当社カードシステム事業部システム一部部長 2020年4月 当社品質保証室長 2021年4月 ※当社QM推進室長	—

#### 【監査役の補欠者の候補者とした理由】

同氏は、当社入社以来、主に金融系SI開発に携わり、豊富な業務経験とプロジェクトマネジメントに関する相当程度の知見を有しております。企業としての健全性を確保する為の監査を行うことについて適切な人材と判断し、監査役の補欠者としての選任をお願いするものであります。

- (注) 1. 横石友浩氏と当社の間には、特別の利害関係はありません。
2. 当社は、各監査役との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の賠償責任を限定する契約を締結しており、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、300万円または同法第425条第1項に規定される最低責任限度額のいずれか高い額としております。また、当該契約に基づく責任限定が認められるのは、その責任の原因となった職務の遂行について善意でかつ重大な過失がないときに限られております。横石友浩氏が監査役に就任した場合には、当社は、同氏との間で、同様の内容の契約を締結する予定です。
3. 当社は、保険会社との間で、監査役全員を被保険者として、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を締結しております。当該契約の概要は、被保険者がその職務の執行に関して負担することとなる法律上の損害賠償金、訴訟費用を填補するものです。横石友浩氏が監査役に就任した場合は、同氏は被保険者に含まれることとなります。また、次回更新時には同内容で更新する予定です。

以上

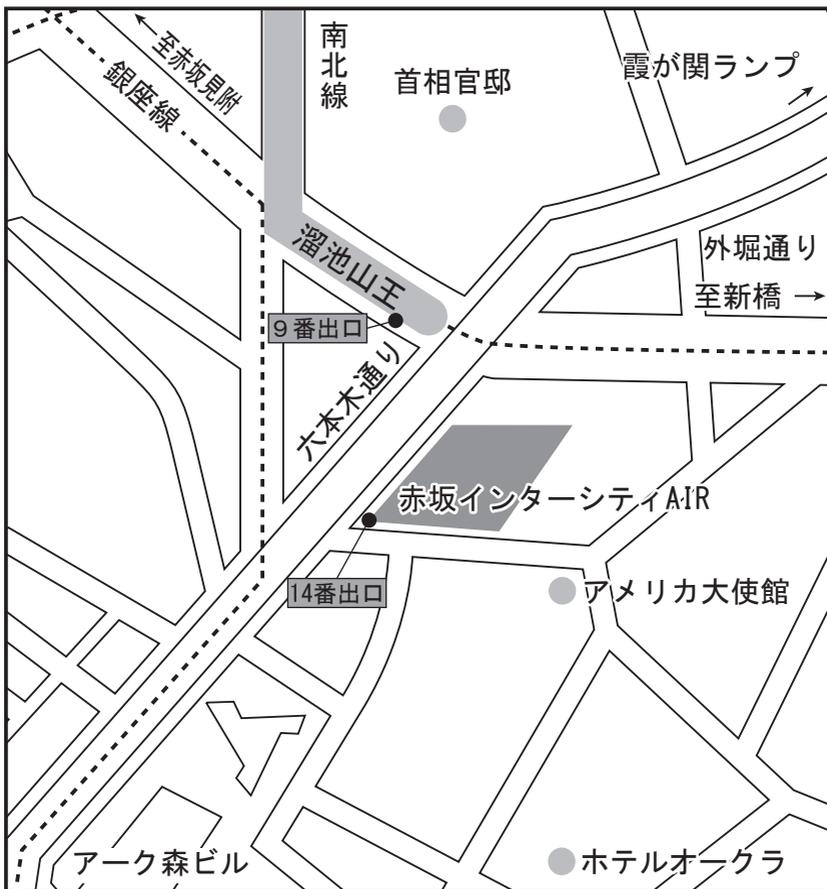
ご参考：第2号議案が承認されたのちの取締役体制（予定）

※本招集ご通知記載の候補者を原案どおりご選任いただいた場合の取締役が有する主な専門性・知見・経験は、以下のとおりです。

氏名	経営	セールスマーケ	テクノロジー	グローバル	財務会計	法務リスク	ESG
葉山 誠	●			●			●
梶野 恭輔	●		●				
山本 善久			●			●	
藤内 聖文	●				●		●
石田 誠司	●	●	●	●			
牧 寛之	●	●					
鈴木 孝一	●		●				
吉田 雅彦	●	●					
末永 守	●		●				

## 株主総会会場 ご案内図

会場 東京都港区赤坂一丁目8番1号  
赤坂インターシティAIR 3階  
赤坂インターシティコンファレンス 301



東京メトロ 銀座線・南北線「溜池山王駅」9番出口より徒歩3分、14番出口直結  
千代田線・丸ノ内線「国会議事堂前駅」直結（「溜池山王駅」から地下通路にて接続）  
日比谷線「虎ノ門ヒルズ駅」徒歩5分、「神谷町駅」徒歩10分